

会報

No. 62

平成15(2003)年11月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL (075)762-4655

パ・ピルスと羊皮紙の頃

宇治市中央図書館長 山本徳善

今年は、「日本におけるトルコ年」

ということで、国内の各地でも様々
な取り組みや催しが行われている。
だからといった訳でもないが、この
夏トルコ共和国を訪れ古代文明の一
端に触れる機会を得た。

黒海・マルマラ海・エーゲ海・地中
海に囲まれ、ボスポラス海峡を挟
んでアジアとヨーロッパの両大陸を
結ぶ文明の十字路ともいわれるトル
コは、文字通り多様多彩な文化が、
混沌の魅力を醸し出す不思議の国で
もあった。

ビザンティン一〇〇〇年、オスマ
ントルコ九〇〇〇年といわれる統治の
面影は、ビザンティンからコンスタ
ンティノープル、そしてイスタンブー
ルへと、征服の度ごとに三度もその
名を変えたトルコ最大の都市イスター
ンブルの市街地に、今も残る建造
物や町並みの随所に文化融合の名残
を散見することができる。

さて今回の旅の目的のひとつは、
紀元前二～三世紀頃に栄華を極めた
ビザンティン帝国時代にトルコの地
に栄え、当時、アレキサン드리ア図
書館と共に世界の三大図書館といわ
れたペルガモンとケルススの図書館

遺跡を見ることであった。

ペルガモン図書館は、エウメネウ
スII世が作つたとされ、約二十万冊
の蔵書があつたそうだ。そのあまり
の隆盛ぶりに、当時世界一と言われ
たエジプトのアレキサンドリア図書
館は、危うくその座を脅かされそ
なり、その当時の「紙」として使
用させていた、ナイル川下流に繁茂
するパピルスの輸出を禁止したとか。
眞偽の程はともあれ、その後ペルガ
モン王国は、パピルスに代わる書写
材料としての羊皮紙を発明したとも
いわれている。

ただ残念なことにこの遺跡は崩壊
がひどく、かつての面影すら見出だ
せないくらい廃墟に等しい状態であ
った。

一方ケルスス図書館は、エフェソ
スの遺跡の中でも最も完全で美しい
姿を残していた。西暦一一七年から
一二五年にかけて建設された二階建
ての建物で、約十二万冊の蔵書を誇っ
ていたという。列柱の一部に修復の
手がはいってはいるものの、細かい
装飾が施されたファサードは繊細で
実に素晴らしい。



ケルスス図書館

集されて管理され、そして利用され
たのか明らかではないが、いずれに
せよ、どこまでも青いエーゲ海を見
下ろしながら今静かに眠る遺跡の上
に立つと、その当時の図書館の管理
者リ学者達の活躍する姿が目に浮か
ぶようである。

かつて版図拡張の海外遠征に明け
暮れた遙かな戦国の時代にあっても
図書館は建設され、その時々の王朝
の庇護の下、学問研究の中心的存在
として古代文明を支えていたのであ
る。たとえ、資料の収集が王侯のコレ
クションであつたり、利用が一部
の学者達に限られていたにせよ、図
書館の原形をそこに見る時、そして
また存在そのものにも意義を持つ図
書館を考えると、その歴史はもつと
大きく位置付けられてもいいのでは、
と痛感させられたトルコへの旅であ
った。

当時の図書館資料がどのように收

ブック・スタート・「絵本の贈呈制度」

井手町図書館の取り組み

井手町図書館
西陰地 成美

井手町図書館では、幼児期から本に親しむことは、子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力をふくらませ、「豊かな心を育む」上で大切なことであるという趣旨のもと、本年度より一才～三才の子どもに対し、図書館で作製したおすすめ絵本のリストの中から、親が希望した絵本を読み聞かせして手渡すという「絵本の贈呈制度」をスタートしました。

この制度を実施するにあたり、読み聞かせをサポートしていただく方が必要となり、まず図書館ボランティアの募集を行いました。

登録していただいた方には、図書館ボランティアとして必要な知識を学んでいただくため、五回にわたる養成講座を受講していただきました。講師は澤田種治氏（前精華町立図書館長）にお願いし、図書館の役割と機能から実技指導まで、充実した内容の講義をしていただきました。

つぎに絵本のリストについてですが、絵本専門書店の方にご協力いただきて選定された各年齢二十五タイトルずつの絵本の内容を紹介してい

ます。

十一日に再度読み聞かせ会を実施しました。
また、今回申し込みをされなかつた方にも、本年度中にもう一度申し込みを受け付ける予定です。

後日ボランティアの方と意見交換を行い、その席上では、今後も読み聞かせ技術向上のために研修会を実施してほしい、地域の公民館を会場にし、参加しやすいようにしてはどうか、など活発な意見交換が行われました。

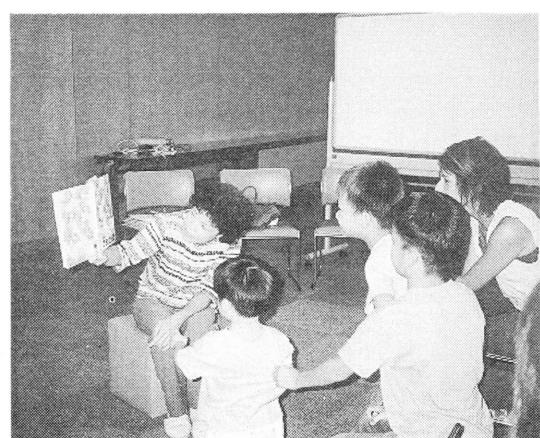
現在、ブックスタートが日本の図書館界でも注目されています。本来ブックスタートとは、赤ちゃんの七ヶ月～九ヶ月検診時に、ブックスタートパック（赤ちゃん絵本、アドバイス集、絵本のリスト等）を配布し、

井手町図書館の場合、三才になるまで毎年この制度が受けられるということで、赤ちゃんに絵本を、というブックスタートの趣旨とはニュансの違うところがありますが、単に絵本を配る会に終わらせないよう、この制度の趣旨を理解していたただくために継続していく必要性を感じます。今年スタートしたばかりなので、改善点はいろいろとあります



絵本のリスト

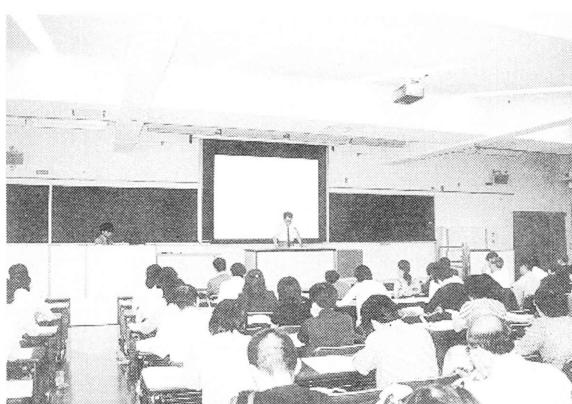
が、ボランティアの方のご協力、ご理解をいただき、より良い制度にしていかなければと思います。



平成十五年九月十日(水)、同志社大学至誠館三二番教室において、第十二回京都図書館大会が開催されました。当初予定していた会場では入りきらず、急遽、場所を変更する程の盛況ぶりで、昨年に引き続き、

府外からの参加もありました(参加者数一七一名)。大会史上第一位)。

午前中は、
国立国会図書
館関西館の小
林一春氏から



「国立国会図書館のホームページを利用したレファレンス」、京都大学附属図書館の井上敏宏氏から「インターネットを使つたレフアレンスの実際」と題した特別報告がありました。

小林氏の報告では、N D L のホームページの中でも、普段あまり目にしないページの紹介(テーマ別調べ方案内、参考図書紹介)が、一方、井上氏からは、京都大学における情報教育授業について(学生に与える情

第12回 京都図書館大会開催

～21世紀の図書館像を探る PART III～

課題等)が、特に参加者の関心をひいたようです。

午後からは、青山学院大学文学部野末俊比古助教授から、「インターネット時代の図書館像」と題した特別講演がありました。

先生はこの中で、インターネットの普及を中心とした現在の情報化社会の現状分析の後、いわゆるデジタル

デバイドや情報リテラシーの問題を論じられ、さらに、

これからの図書館が目指す一つの形

(ハイブリッドライブラリ)や図書

館の政策・経営・評価にまで話が及

びました。(なお、詳しい講演内容は、

来年発行予定の記録集に所収されます。)

その後の交流協議でも、活発に意見や質問が出されました。

タイムリーなテーマだったことも

あり、参加者も多く、また、アンケートの結果も概ね好評でした。一方、

もっと時間をとつて深い話を聞きたかったという意見も見られ、本テーマへの関心の高さを窺わせました。

L I B R A R Y N E W S ～開室しました～

一日吉町生涯学習センター「遊youひよし」図書室～

十月一日に開館した、日吉町生涯学習センター「遊youひよし」の中に、日吉町ふるさと文庫に代わる新しい図書室ができました。場所は、

J R 山陰本線鍼灸大学前駅降りてすぐ、駅から建物が見えています。また、駐車場(八十八台分)もあります。

担当者の久保さんにお聞きすると、

「絵本を読む『くまの親子』が当館のキャラクターです。この親子の、

ほのぼのとあたたかい、やさしいイメージを大切に、私たちがどの年齢の方にも親切に接することで、この

図書室をまず好きになつていただきたいです。」とのことでした。

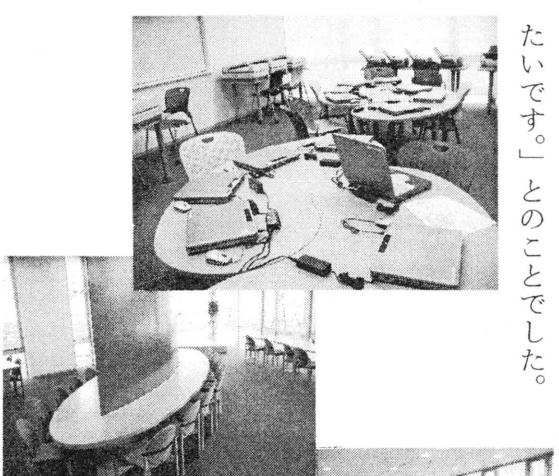
住所／日吉町字保野田
小字長通り二四番地
電話／〇七七一ー七二一三三〇〇
FAX／〇七七一ー七二一三三一一
電子メール／

yu-you@town.hiyoshi.kyoto.jp

開室時間／【平日】九時～十八時

【土日祝】九時～十七時
休室日／毎週月曜日(祝日は開室し、翌日休室)、毎月最終木曜日

すぐ隣にはIT研修室も併設され、とてもきれいでゆつたりした図書室です。



専

門

委

員

会

二

ユ

リ

ス

書室)

生駒 彩子（綾部市図書館）

永本洋一郎（福知山市立図書館）

櫻井真由美（夜久野町立教育文化会

館図書室）

岡本 知子（宮津市立図書館）

瀬戸真由美（岩滝町立図書館）

堀口 知子（大宮町中央公民館図書室）

松岡 豊美（あみの図書館）

平居 千明（京都府立総合資料館）

河原 茂記（京都府立図書館）

平成十五年十一月二十日（木）
午後一時三十分～四時
場所 みやづ歴史の館講師 長岡京科学とあそびの会
代表 小野 操子氏平成十五年度第二回広報委員会を
十月二日（木）に府立図書館で開催
し、会報第六十二号の編集について
協議を行いました。

◎ 広報委員会

南部会場

平成十六年二月十三日（金）

場所 国立国会図書館関西館

内容 国立国会図書館関西館の職

員による講義と館内見学

◎ 相互協力委員会
平成十七年度の府立図書館のシステム更新に伴うK-Libnetの更新について、意見を広く聴かせていただきました。ただく場として、今年度は通常の相互協力委員会に加え、読書施設の方にも参加していただく「拡大相互協力委員会」の開催が、第二回理事会で承認されました。

拡大相互協力委員のメンバーについては、各プロックから推薦していただき、以下のように決定いたしました。（太文字が今回選出の委員）

上田まゆみ（京都市図書館）
五十棲千景（長岡京市立図書館）
嶋田 ゆみ（宇治市中央図書館）
大槻 政美（京田辺市立中央図書館）
奥山 一紀（宇治田原町立図書館）
森井 里美（加茂町立図書館）
北 美智子（和束町体験交流センター図書室）
山本 美幸（亀岡市立図書館中央館）
廣瀬 滋子（八木町立郷土資料館図書室）
人魯 亭（京北町文化センター図書室）

第一回の拡大相互協力委員会は、十一月下旬から十二月上旬を予定しております。それまでに、委員以外の方からもK-Libnetに関するご意見・ご要望をお聞きしておりますので、相互協力委員会事務局までお寄せください。

なお、今年度の相互協力実務担当者会議は、現在のところ、来年一月を予定しております。

内 容 科学おもちゃの作成と講義
テ マ 「簡単なもの作りで身近な
科学あそび」
中 部 会 場
場 所 京都ライトハウス・ホール
内 容 京都ライトハウス点字図書館の田尻 彰館長による「公共図書館への期待と点字図書館の役割」をテーマとした講演並びにビデオ上映及び館内見学

★ 編集子 ★
図書館をめぐっては、いろんな新しい動きがみられます。今回は「ブックスタート」について、井手町さんの取り組みを中心記事にしました。皆様にも興味をもつて読んでいただけるのではないかと思っています。
これからも新しい動きや施策などを取り上げていきたいと考えていますので、皆様からの情報・ご意見・ご要望等をお待ちしています。

北部会場

平成十五年十一月二十日（木）

午後一時三十分～四時

講師 長岡京科学とあそびの会

平成十五年度第二回広報委員会を
十月二日（木）に府立図書館で開催
し、会報第六十二号の編集について
協議を行いました。

◎ 広報委員会

南部会場

平成十六年二月十三日（金）

場所 国立国会図書館関西館

内容 国立国会図書館関西館の職

員による講義と館内見学

